

甲斐市教育委員会第2回定例会議事録

- 1 日 時 令和2年5月27日(水)午後1時30分
- 2 場 所 甲斐市役所 新館3階 竜王北部公民館 視聴覚教室
- 3 開 会 午後1時30分
- 4 出席者 【教育長】宮坂雄次郎教育長
【委 員】中込正久職務代理者 長田明美委員
小林啓子委員 金子初男委員
【説明員】山田洋教育部長 名取藤吾教育総務課長
興石信学校教育課長 大寫正之生涯学習文化課長
山岡広司スポーツ振興課長 保坂義実図書館長
小山田拓也学校教育指導監
- 5 傍聴人 なし
- 6 事務局 森川嘉亮教育総務係長 柴崎唯教育総務係員
- 7 前回議事録の承認 令和元年度 第12回定例会議事録 「承認」
- 8 教育長からの報告
- 9 議 題
第1号 令和2年度甲斐市立小中学校評議員の委嘱について
第2号 令和2年度双葉西小学校学校運営協議会委員の任命について
- 10 その他
(1) 令和元年度創甲斐教育推進事業の進捗状況について
(2) 令和2年度学校基本調査集計表について
(3) 令和元年度末市内中学校3年生進路状況について
(4) ≪ラジオ体操のまち甲斐市≫推進計画における(平成31年度)令和元年度成果指標実績値の報告について

(5) 6月の行事予定について
- 11 閉 会 午後3時30分

○開 会
事務局

開会を宣する。

○あいさつ
教育長

皆様こんにちは。

5月24日の日曜日にやっと小中学校の入学式を実施することができました。天候にも恵まれ、喜びの中にも若干の緊張感が漂っていたように感じます。事後の調査でも良い評価をいただいております。

教育委員会の各課とも新型コロナウイルスの影響の中、粛々と創甲斐教育推進大綱の遂行に尽力しております。

今月の行事・会議・催し物も次々と中止または延期となっておりますが、施設改修・改良工事の入札が行われ、竜王小学校・玉幡小学校のキュービクル工事、竜王南小学校・竜王西小学校・敷島小学校・双葉西小学校・双葉中学校の屋内運動場LED化工事、スポーツ振興課では竜王スポーツセンター・玉幡体育館・双葉体育館のLED化工事の施工業者が決定しました。子どもたちの歓声が響き渡り、地域の皆さんが生き生きと運動する姿を早く目にしたいと思っております。

授業再開が遅れた関係で、学習の機会をどのように補ってゆくのか、学習規律と生活のリズムの回復や体力の補い等課題はたくさんあります。

山梨県教育委員会も学習支援動画を公開しており、甲斐市でも市のホームページに「やはたいぬ君の習字」の動画や竜王北中学校が作成した動画を公開しております。

また、市内全ての学校のホームページに学習支援のサイトが貼り付けられ、学校独自の動画をアップするなど学習支援という点では、前進しております。

これからも山梨県教育委員会をはじめ、教育委員の皆様方のご理解やご指導をいただきながら、学校現場と連携して課題解決に結び付けてまいりたいと考えております。

○教育長報告

教育長

5月の諸報告をさせていただきます。

今月もまた、空白が多くなりました。この間の入学式変更の経緯をお話させていただきます。

4月6日の小学校入学式及び、4月7日の中学校入学式は4月5日に市内を生活圏としている男性が、コロナウイルスに感染したと県から連絡があったため延期となりました。

4月19日の小・中学校入学式は4月14日に、5月10日の小・中学校入学式は4月30日に、いずれも山梨県教育委員会から臨時休校再延長の要請が出たため、延期となりました。

そして、5月24日に小・中学校入学式が行われました。

この間5月11日の週と5月18日の週に地区別などの登校日を設け、健康のチェックをしたり、学習課題を渡しその結果を回収、チェックし次の課題を出し回収するという活動をしました。また、給食の代わりにお茶とパンを配布しました。

5月25日には始業式が行われました。

今週一週間は、半日授業で個包装の持ち帰り給食で内容は、おにぎりとお茶、パンとお茶の日替わりとなります。

6月1日から本格的な授業再開・全学年給食開始となります。

以上、5月の諸報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

○議 題

第1号 令和2年度甲斐市立小中学校評議員の委嘱について

事務局

(資料説明)

委 員

評議員の人数が3人の学校がありますが、人数の規定はどうなっているのでしょうか。

事務局

6名以内となっています。

委 員

では、3人でも規定に合致しているのですね。分かりました。

教育長 その他ご意見、ご質問はありますか。では承認してよろしいですか。
一 同 異議なし。

第2号 令和2年度双葉西小学校学校運営協議会委員の任命について

事務局 (資料説明)
教育長 ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。
一 同 異議なし。

○その他

(1) 令和元年度創甲斐教育推進事業の進捗状況について

事務局 (資料説明)
事務局 (資料説明)
事務局 (資料説明)
事務局 (資料説明)
事務局 (資料説明)
事務局 各課の説明のとおり、最終的に第1次創甲斐教育推進事業においてはコロナウイルスの影響が大きく数字に出ました。目標を達成したものや成果の出たものもありますが、統括という面では数値的に届かなかった指標もいくつかありました。

新たにスタートしました第2次創甲斐教育推進事業におきましては第1次の反省点も踏まえ、目標達成に向け各課で鋭意努力をしていきたいと思えます。

委員 学校教育の充実の2-4において、「平日、家や図書館などで、一日あたりどのくらいの時間、読書をしますか」という設問に「30分以上と回答した児童生徒の割合」とありますが、これは「1年間の教育活動の反省」の項目の中にもいつも入っていて、低い状況にあるということですよね。

そもそも、この目標値が55パーセントや40パーセントと設定されていますが、この低い設定の中で実際に達成できていない状況で、こう

いった目標設定が現代の子どもたちの状況から考えて適切なのでしょうか。

また、6-1と6-2の「環境教育の充実」と「小学校外国語活動及び国際理解の時間の充実」についてですが、昨年この目標に対して数値が低かったと記憶しています。国際理解は年間12時間ということを考えれば達成できないものでもないと昨年発言した覚えがありますが、今回は数値が増えているので、こうした数値が上昇したことへの取り組みもあったと思います。その辺の取り組みはどのようなことをされたのでしょうか。

委員

学校教育ばかりではなく、社会教育や体育もだんだんと人数が減っているものがあります。

施設は初年度の数値目標を下げていくということも考えていかなければならないと思います。目標の設定も次の5年間を見定めなければなりません。また、インターネットやスマートフォンにより子どもの生活が変わってきて、周りの子との関わりが薄くなっております。逆に、図書館や学校図書室を利用するなどして読書を促すようにしてあげないといけません。その辺も考えながらではありますが、無理な目標を作るというのも考えなくてはならないと思います。

事務局

2-4の目標値の設定が低いのではないかと指摘がありましたが、この目標値を設定するにあたっては当然どのような目標も100パーセントにできれば良いのですが、学校に求められていることの多さや、特に読書に関しては家庭での時間となりますので、学校では指導しながらも最終的には子どもの意思や家庭環境が大きく影響する項目となります。

そういったものを考えながら、子どもたちの現状を見る中では、低い目標値ではなく適切な値であると考えております。

学校現場でも県からも言われている「家読書」の取り組みや「親子読書」を読書週間に呼び掛けたり、校内でも図書委員会の活動や朝読書をしながらかの教育活動の中で読書好きにさせることが最終的には家庭学習で自主的に本を読む子が育つという形の中で、10年間取り組んでいたのですが、学校にとっては非常に高い目標であったと思います。しかし、読書については大切な子どもたちの力となりますので、第2次

創甲斐教育推進大綱でもこの目標は継続して残す形としました。

ただし、子どもたちをとりまく状況が変化しているという状況がありますので、数値は若干変更し小学校の目標値の 55 パーセントを 50 パーセントに下げました。

まずは5年間の中でこの数値を達成し、さらにその先の5年間は数値を上げていくことを考えていきたいと思っております。

次に6-1についてですが、県のプログラムの実践率が 63.6 パーセントから 81.8 パーセントに上昇しました。目標値の 100 パーセントには到達できませんでしたが、これについては学校へ年度当初にお願いする中で、具体的に非常に有効な教材であると紹介をしまして、指導案を紹介しながら学校で利用するハードルを下げる形で説明をし、結果的には小学校が多く取り組んでくれたので、81.8 パーセントまで上昇させることができたと考えております。

事務局

6-2につきましては、平成 30 年度の小学校の現況値は 72.7 パーセントだったものが昨年度は 90.9 パーセントとなりました。30 年度の数値が前の年に比べて落ち込んでいた理由ですが、いろいろな教育活動が入ってくる中で、なかなか低学年に外国語の時間を当てるとということが難しくなっていたのではないかと考えられます。

しかしながら、外国語教育が今年度の学習指導要領で教科として 5・6 年生は 70 時間、3・4 年生については 1 コマ 35 時間でスタートするというので、それを見据えて準備をしていこうという取り組みがあり、特に 3・4 年生の達成率が上がったものと思われます。

1・2 年生については、当面英語の時間がありませんので、傾向は変わっていないと思います。

委員

ありがとうございます。特に環境教育の充実につきましては、先ほど丁寧な紹介をされたとお話をさせていただきましたが、やはり学校現場も多忙な中大変ですので、そういった指導案を紹介したことによる成果はあったと思います。

事務局

スポーツ少年団の人数及び団数についてですが、団数は今後増えていく見通しは無いと考えております。人数については平成 30 年から平成 31 年で 37 名の減となりましたが、平成 29 年から 30 年では人数が増え

ていますので、スポーツ振興という観点からは次の目標値については750人という数を希望的数字とさせていただきます。団数につきましては減っても団員が増えるということもあります。次年度は目標値を設定しておりません。

委員

学校教育の2-5「不登校の状況」について、平成31年度の現況値が1.55パーセントということですが、心配なのは3月、4月、5月のこのコロナウイルスによる自粛生活の影響が不登校児や不登校傾向児の生活自体に大きく出て、表に出てくることです。

次の目標値は1.10パーセントですので、小6と中1の連携や継続者について、丁寧に見取っていくことが大切なのではないかと思いました。

事務局

コロナウイルスの影響による休校から、学校の再開が始まりましたが、ご指摘されたように学校の生徒指導の対応が非常に重要になります。

学校では感染防止対策も非常に重要になりますが、その次に子どもたちの心のケアも重要であると考えていますので、16校会等で校長先生により手厚く子どもたちの観察をするようお願いをしているところです。

子どもたちが一人でも多く学校に登校できるように取り組みを進めてまいりたいと思います。

委員

朝読書が減少しているというお話について、私たちもボランティアとして朝読書に伺わせていただいておりますが、現状は教室の中で子どもたちが机を教室の後ろ半分に寄せて、前の方に密集して座って本を読んでいます。

読む本も大きなものではないので、あまり子どもたちが広く散ってしまふと読み聞かせも難しいという状況です。各図書館で行われている定例のおはなし会も、子どもたちが比較的密接して座って一冊の本をみんなで読んだり、ホールで締め切った状態で人形劇等を見せています。

ボランティアをしてくださっている皆さんにも新しい実施の仕方や目安を示していただけるとやりやすいと思います。

事務局

朝の読み聞かせにつきましては学校司書の方々に情報提供をいただき、内容を確認して数字を入れさせていただきました。なかなか学校のスケジュールもありますので一概にどうするということは難しいところがありますが、今後なるべく機会を作っていけるよう進めたいと思います。

定例のおはなし会については、現在イベントを7月まで中止をさせていただいており、図書館の司書やスタッフと打ち合わせをする中で、ボランティアの方々のご意見を伺った中で良い会を開催できるようにしていきたいと思っております。

委員 平成31年度の各目標値が、平成25年度の現況値の少し上となっております。平成25年度をもとに作っているようですが、平成31年度の目標とかけ離れている数値もがあると思いますので、見直しも必要だと思います。流れをよく見ていただいて、無理なことをするのではなく、第2次の大綱に繋がっていけば良いと思います。

事務局 第2次創甲斐教育推進大綱については、平成30年度の現況値に対して令和6年度の目標値を掲げさせていただいております。第1次創甲斐教育推進大綱につきましては10年前のものでありますので、その反省を踏まえて5年間で達成できる数字として鋭意努力していきたいと思っております。

教育長 その他ご質問はございますか、よろしいですか。

一同 異議なし。

(2) 令和2年度学校基本調査集計表について

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見ご質問はございますか、よろしいですか。

一同 異議なし。

(3) 令和元年度末市内中学校3年生進路状況について

事務局 (資料説明)

委員 毎年、無業者数が心配になります。

通信制の学校に通ったり、留学をして勉強をする子は大丈夫だと思いますが、高校などに行かない子は、そこで学校からの支援は切れてしまいます。誰が手を差し伸べてあげられるのか。中学校の先生も心配をしているのですが、新入生も入ってきますので卒業生にいつまでも関

わってられません。市で支援などを考えていかなければなりません。

私たちが交代で自立支援の委員になっていますが、そこではあまり話題になりません。社会福祉協議会でも対象にはなっていないと思います。こういった子どもに手を差し伸べられるようにしてあげなければならないと思います。

委員 不登校生徒の進路が心配です。学校ではこの生徒たちに対してどのような対応をしていたのでしょうか。オークルームでは定時制の学校に通えるよう対応をしたりもしましたが、学校はどうでしょうか。

事務局 日ごろから、不登校担当を中心に学級担任あるいは学年担任の先生たちで連絡し、関わるという形は取っていると思います。情報の共有も校内ではしっかりとできていると聞いています。

しかしながら、保護者の理解がとても大きいところがあります。

学校との連絡が取りづらい家庭は子育て支援課も関わりながら長年対応しているけれども、なかなか改善されませんでした。それぞれの日常を抱える中で、学校としては最大限の努力をしてきたと思いますが、残念ながらこのような形となってしまいました。

事務局 各学校も実態に応じた対応を丁寧に行っていると思います。学校の働きかけの他に、家庭で親御さんも自分の子どもの適正に合わせて、どの進路がふさわしいのかをインターネットで情報を集めています。不登校の子であっても、定時制や通信制や全日制でも進学に結びついているのは学校の働きかけと家庭での保護者の注力によるものであります。

今回の無業者については、本人よりも家庭の支援や理解を促すような取り組みをしていかなければなりません。15歳の子どもが自分だけでどうにかするという事は難しいので、子どもと同時に家庭への支援をいかに系統立てていくかということが大切だと思います。

教育長 その他ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

- (4) 《ラジオ体操のまち甲斐市》推進計画における(平成31年度)令和元年度成果指標実績値の報告について

事務局

(資料説明)

委員

ラジオ体操を盛んに行うという中で、体力づくりや健康づくりといった側面もあり、青少年育成という面もあります。

夏休み中のラジオ体操は、以前に比べて日数が少なくなっていますが、仮に少なくなっても自治会と連携しながら実施しています。私もそこへ参加する際に、子どもたちに指導したりもします。

以前、ジュニアリーダーについて、どのような方法でなっているのかと質問をさせていただいたとき、地区によっては各自治会で選んだり、各学校へお願いしたりするとのことでしたが、子どもクラブとも重なるのでしょうか。そういった児童・生徒が明確になっており、ラジオ体操の時に率先してお手本をできるようなシステム作りができると、より青少年育成や地域住民とのふれあいや体力向上を推進していくということになるのではないのでしょうか。

私がラジオ体操に参加した際、子どもたちは学校で行うものに比べて、だらだらと行っているところがありましたが、私が高学年の子どもに「前に出て、お手本になってください」と呼びかけたところ、みんながきっちりと体操をしてくれるようになりました。ジュニアリーダーが各地区に居るように、そういった児童・生徒がラジオ体操で先頭に立って行うのが良いのではないのでしょうか。

北部公民館の公民館まつりの時に、バルーンアートをしていた中学生の生徒に「こういう活動を試してみようですか」と聞いた際、「僕はコミュニケーション能力が向上しました」と教えてくれました。ジュニアリーダーの役割を担うと、個人的に自分で良くなった面を認識できたりします。そういったものを各地区で還元していただけると良いと思います。

事務局

ご意見をありがとうございます。ラジオ体操をジュニアリーダーの方々が先頭に立って行うということにつきましては、担当と話をさせていただきます。

事務局

スポーツ振興課では3世代ふれあいラジオ体操ということで、資料中②「生涯スポーツの推進」に「3ラジオ体操指導者育成事業」とあります。こちらはそれぞれの自治会の体育協会の普及員さんに指導研修会

を開き、正しいラジオ体操の行い方を研修しております。こちらには子どもクラブの親御さんや育成会の方々にも募集をかけています。数字を見ますと、年々増えています。こういった方が朝、ラジオ体操に行って指導していただければと思っております。こちらの事業も併せて進めていきたいと思っております。

委員 指導者になられる方に働きかけをしていただけると、より良いと思います。

教育長 その他ご意見、ご質問はありますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

(5) 6月の行事予定について

事務局 (資料説明)

教育長 ご意見、ご質問はございますか。よろしいですか。

一同 異議なし。

○閉会

事務局 本日、本定例会に付議された議案の審議を全て終了したので本定例会の閉会を宣する。

閉会時間 午後3時30分